

東社協3か年計画（令和4～6年度） 重点事業進捗状況 総括表（令和5年8月末現在）

VI 社会福祉に対する理解の促進

14

福祉の理解を促進するための情報発信力の強化  
(35 号)

総務部

今年度までの取組み・達成状況

【令和4年度】  
○東社協における情報発信の課題や方向性の整理を行うため、広報プランナーの吉田知津子氏の監修による局内プロジェクトを実施した。  
○プロジェクトで学んだ内容を通常業務において実践するとともに、「広報虎の巻」としてまとめ、局内に配布した。

【令和5年度】  
○新たに「広報連絡会」を設置し、東社協における情報発信のトーン&マナーを整理している。

課題

東社協における広報の共通理解をどのように局内へ浸透させていくか。

前年度の成果を深めて「トーン&マナー」としてまとめながら、各種媒体のリニューアルや調整をいかにすすめるか。

今後の取組み

広報連絡会において、組織としての広報マインドを醸成し「トーン&マナー」としてまとめるとともに、局内の情報共有のしくみづくりをめざす。

「トーン&マナー」をまとめつつ、東社協全体の情報発信媒体としてのウェブサイトや『福祉広報』のリニューアル等について検討をすすめる。

15

次世代を取り巻く教育関係者への普及啓発の実施  
(35 号)

人材対策推進室

今年度までの取組み・達成状況

「フクシを知ろう！教員向けセミナー」開催  
令和4年度 2回開催 申込総数 125名  
令和5年度第1回(8月18日ライブ配信。8月24日～10月1日録画配信)。申込総数 50名

上記について、東京都福祉局を通じて東京都教職員研修センターや東京都生活文化スポーツ局私学部へ開催を周知した。また、今年度より情報交換を開始した東京都奉仕・ボランティア教育研究会（東京都教育委員会研究推進団体）に周知協力を依頼

「フクシを知ろう！なんでもセミナー」実施  
令和4年度（15校25回42コマ1,240名）  
令和5年度（5校9回16コマ367名）

高校生向けの内容を中心に、福祉に係る授業のための教材を検討し、東社協ホームページ上で公開

教材のための写真素材・動画を収集

課題

「福祉の仕事」に対する理解を促す以前に、「福祉」そのものについて、特別ではなく、身近な日常にあり、誰でも利用できるもの、と知ってもらうことが重要

教員向けの教材の活用を働きかけるための媒体、働きかける先となる関係団体等の検討

今後の取組み

先に公開した福祉に係る授業のための教材を補足する指導のポイントを作成し、教材と共にホームページに掲載し、関係者に周知する。

第2回「フクシを知ろう！教員向けセミナー」は12月に録画配信を予定

東京都奉仕・ボランティア教育研究会との情報交換・事業への協力依頼を継続